

# 令和8年度 新潟市立南浜中学校 学校経営方針

校長

★教育目標：深く考え 心豊かに 実践する生徒

☆重点目標「これからの社会をたくましく生きぬく生徒」  
(目指す生徒像)

## ◆指導の重点

- 自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的に行動する。
- 自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかかわり合い、合意形成する。
- 社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する。
- 世界的視野で考え、地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献をする。

## ◇重点事項の詳細

### 1 主体的・対話的で深い学び

- (1) 主体的・対話的で深い学びとなるように授業改革を推進し、学力の向上を図る。
- ①課題提示の工夫 ②発問の質 ③個別最適・協働的な学びの視点に置ける授業づくり
  - ④単元デザインを意識した授業づくり
  - ⑤何を学んだか、何が分かったか、何ができるようになったかを意識した振り返り

### 2 自律性と社会性

- (1) 生徒の自律性と社会性を高めるための取組を進める。
- ①家庭学習の習慣化（自律性）
  - ②三点固定とメディアコントロールの意識向上（自律性）⇒健康体力の向上・基本的生活の習慣と  
コラボ
  - ③高め合う、よりよい人間関係を築く異学年交流の実施（社会性）
- 手段 ①～③を実現するために、学びのリフレクションを学習と特別活動の両軸で行う。
- ・プロアクティブの意図的取組（全校）→リフレクション（全校）→繰り返し
  - ※良質なサイクルを実現することで高め合う風土を醸成していく。
  - ・生徒自身が自分や仲間と意識を高め合う取組（生徒会主体）の実施

### 3 共生教育・UDL

- (1) 的確な情報共有、対応の共通理解と環境調整で個別最適な合理的配慮の提供を行う。
- ①定期的な情報交換とケース会議（毎週金曜日の職員朝会、運営委員会、職員会議）
  - ②個別の教育支援計画と個別の指導計画の確実な作成と追記（LITALICOの活用）
  - ③生徒のニーズに応じた学習環境（SRと交流学級）
- 名称の変更 SSR（現在）→SR（※一般的に校内適応指導教室をSSRとしているため）  
GSR（現在）→SSR1  
SR（現在）→SSR2
- ※TDR（現在）は、そのまま。
- ④特性を活かし、個性を認め合う一人一人が輝く全員主役の学校

#### 4 健康体力の向上・基本的生活の習慣

(1) 三点固定の定着で、規則正しい生活習慣と生活リズムを構築させるとともに、メディアコントロールを高め、生活習慣の改善を図る。

①毎日、グリーンノートに記入し、自己管理する。

例：提出の際、班長等が班員にグリーンノートの提出を呼びかけ、担任等がチェックする。

(班長、学級担任)

②定期的、3点固定とメディアコントロールのアンケートをとり、振り返る。

例：保健委員は、集計・分析し、生徒朝会で報告（保健委員会）する。効果的な方法や取組について、各学年の数名から発表してもらう。

③メデイコン家族会議を行う。

例：夏季休暇前にメデイコン家族会議のプリントを配付し、保護者に協力を依頼する。依頼できない家庭は、担任と行う。夏季三者面談で実施内容を説明し、家庭のルールづくりや使用について振り返る機会とする。行った内容や振り返りについて、夏季休業終了後、提出してもらう。

※メディアコントロールについては、保護者アンケートで一番低い項目であり、多くの家庭で困難を感じているため、保護者と学校が一緒になって取り組む活動とする。

④①～③の活動内容や成果を保健だより、学校だよりで報告していく。

#### 5 地域連携～夢・未来・南浜プロジェクト～

(1) 地域と共に南浜の未来を創造し、連携して地域に貢献できる生徒を育てる。

①単元配列表に位置づけ、地域教育活動の整理と意味づけによる教科横断的な学習

(教育計画：南浜中学校単元配列表確認)

②学校運営協議会による持続可能で Win-Win の地域融合の推進

新潟医療福祉大学、南浜地区コミ協、PTA・同窓会、南浜地区育成協、南浜自治振興会、NPO 法人・企業、南浜漁協・JA

③学びの拠点作りと生徒の地域貢献を核にした、地域融合システムの構築

R7 学びの拠点作り：朗読コンサート、東洋医学とセルフケア、学校医講演会、書道教室、認知症サポーター養成講座、AED 講習会、妊婦体験、のっぺ作り、笹団子づくり、アジのさばき方、文化祭地域作品展示

R7 生徒の地域貢献：漁港まつり

④キャリア教育の視点から、外部人材（地域住民・大学生）との協議による地域課題の探求、多様な教育課題の展開

- ・先輩に学ぶ・・・R7 年度→特別支援学級の先輩（高校生 2 名）と大学生 2 名
- ・総合的な学習の時間の取組（松風祭における発表までの取組）
- ・外国人転入生への日本語教育指導

⑤小中連携事業（南教研）「主体的に学習を深め、地域に愛着を持ち貢献する子ども」

⑥その他

- ・PTA 活動を通して、学校行事（海鷹祭、松風祭）における準備・片付けのサポート依頼
- ・部活動地域展開の情報提供（学校だより、配信メール）